

農事組合法人 大杉畜産 様



カプセルセンスで1年1産90%を達成

発情見逃しがなくなり監視にかかる時間を大幅に削減

— 導入前に感じていた課題は？

外出時や夜間の発情見逃しが非常に多く困っていました。分娩予定日を細かくチェックし、近づいてきたら分娩牛舎に移動させるのですが、なかなか予定通り産まないケースも多くその度に敷料の交換など仕事が増えて大変でした。

— 導入のきっかけは？

岐阜県で行っていた実証実験でのトライアル導入です。**付け替えの必要がない発情検知機だったので導入を決めました。**元々、発情・分娩の検知機を探してはいたのですが付け替えが必要なものが多かったり、費用の面からもなかなか導入までは至っていませんでした。

— 実際に導入してみてどうか？

以前のような発情見逃しはなくなり今では種がついていない牛はほとんどいません。**細かく監視をする必要も無くなったので、自分の時間がすごく増えました。**分娩に関しては前日に通知が来た際に分娩牛舎へ移動させるので無駄がなくなり大変助かっています。

こんな方に読んでほしい

- ✓ 肉牛繁殖農家の方
- ✓ 飼育頭数が50-100頭
- ✓ 運営規模が1-5名
- ✓ 発情見逃しが多い

大杉畜産様について

- ✓ 所在地：岐阜県
- ✓ 経営形態：肉牛繁殖
- ✓ 飼養頭数：50頭
- ✓ 運営規模：1-2名

導入製品

■ CAPSULE SENSE (カプセルセンス)

温度・加速度センサを内蔵したカプセルを牛の胃の中へ投入し24時間365日体温や活動量を測定。発情・分娩・疾病などの体調変化を検知します。

Point of Selection

CAPSULE SENSE® 選定のポイント



①発情を検知し見逃しを防ぐ

✓ 発情をカプセルセンスが検知
監視業務にかかる時間を削減

✓ 授精適期を教えてくれるため
受胎率がアップ

②分娩の検知による効率化

✓ 出産に立会うことで
分娩事故を防止できる

✓ 24時間前に分娩を通知
無駄な仕事がなくなり効率が良くなる

③付け替えの手間が一切不要

✓ 最初に牛にカプセルを投入するだけで
発情～分娩まで管理ができる

✓ 使い回しをしない、発情・分娩検知機
導入後のコストが少ないのも魅力

User's Voice

「カプセルセンスで無事に子牛を出産させることができています」



株式会社タケダ牧場様

- ✓ 経営形態：肉用牛一貫農家
- ✓ 飼育頭数：300頭

— 導入前に感じていた課題は？

牧場と焼肉レストランを両方を経営する中で**受胎率の低下と体調管理**が課題でした。毎日牛全頭の体温を測定することは難しく、白血病や子牛出産後の低カルシウム血症に気づくのが遅れ、重症化し死なせてしまうことがありました。

— 実際に導入してみてどうか？

カプセルセンスが発情発見、体調管理、最終的に分娩に立合い、無事子牛を出産させることを助けてくれています。**分娩は24時間前に検知できるので無駄なく立ち会いができて大変助かっています。**人よりも早くカプセルが体調変化を検知してくれるので肺炎などをこじらせる前に治療を行うなど体調管理にも役立っています。

「初期費用が安く、導入しやすい事に魅力を感じました」

— 導入前に感じていた課題は？

毎日牛を目視で確認し、耳の垂れ、鼻の濁き、だるそうでないかをチェックしますがどうしても見落としが出てきてしまい**人手での体調管理に限界を感じていました。**特に、暑い日が続くと熱中症で死なせてしまうこともあり、体調不良を早期に把握する方法を探していました。

— 導入の決め手は？ 実際に導入してみてどうか？

発情、分娩、疾病兆候を管理することができ、且つ**導入コストが安価だったことに魅力を感じました。**24時間365日カプセルが体温を測定し、発熱を速やかに検知できるので体調不良の見落としが減り、非常に助かっています。



大坪畜産株式会社様

- ✓ 経営形態：肉用牛一貫農家
- ✓ 飼育頭数：100頭

株式会社エムズ様



乳房炎の早期発見で重症化を防止

カプセルセンスによる牛の監視で作業の省力化を実現

— 導入前に感じていた課題は？

妻と従業員をあわせて4人で作業を行なっていますが、1日の仕事が終わらないことも多く省力化が課題でした。自動搾乳機の導入をしていたのですが、その弊害で牛との接触が減ってしまい、牛の病気を見落とししてしまうことも課題でした。

— 導入のきっかけは？

農場作業の省力化を考えていたときに発情・分娩・疾病を1つの機器で検知できる点に興味を抱き導入検討していました。製品開発段階のトライアル導入を行う中で明確な価値を感じたため、本導入することに決めました。

— 実際に導入してみてどうか？

カプセルセンスに牛の監視を任せることで無駄な観察が減り、作業の省力化に繋がっています。体温を常時測定し発熱を教えてくれるため、その時点で牛を観察し必要な治療を行うことで重症化を防げたケースが多々ありました。

こんな方に読んでほしい

- ✓ 酪農農家の方
- ✓ 飼育頭数が100-200頭
- ✓ 運営規模が1-5名
- ✓ 病気見逃しが多い

(株)エムズ様について

- ✓ 所在地：岐阜県
- ✓ 経営形態：酪農農家
- ✓ 飼養頭数：160頭
- ✓ 運営規模：4名

導入製品

■ CAPSULE SENSE (カプセルセンス)

温度・加速度センサを内蔵したカプセルを牛の胃の中へ投入し24時間365日体温や活動量を測定。発情・分娩・疾病などの体調変化を検知します。

Point of Selection

CAPSULE SENSE® 選定のポイント



①牛の監視作業の省力化

- ✓ 24時間365日カプセルが牛を監視
異変があった際はスマホに即通知

②発情/分娩/疾病を検知

- ✓ 体調に異変がある牛から優先的に観察
効率的な監視業務の段取りが可能に

③病気の見逃し/重症化を防ぐ

- ✓ 発情サインをCAPSULE SENSEが検知
授精適期を逃さず受胎率アップ

- ✓ 分娩24 h前の行動変化を通知
難産リスク牛を事前に把握して対処

- ✓ 乳房炎など病気の兆候を検知
早期発見で治療コスト抑制にもつながる

- ✓ これまでの蓄積データ×AIによる解析
正常パターンから外れた異変をカプセルが検知

User's Voice

「常時正確な体温を把握でき、体調管理や分娩に役立っています」



大島酪農組合様

- ✓ 経営形態：酪農農家
- ✓ 飼育頭数：100頭

— 導入前に感じていた課題は？

体調管理と分娩に課題感を感じていました。特に分娩については、分娩日の近い牛を分娩房へ移動させ、監視カメラで見守るようにしていますが、どうしても1日中見れるわけではないため、気づくのが遅れてしまい、立ち会いができず分娩事故により子牛を死なせてしまうことがありました。

— 実際に導入してみてどうか？

常に正確な体温を把握できることが他製品との違いだと思います。外気温の影響や、飼養管理が変化していく中でも、体温で体調を管理できるため価値を感じています。また、スマホでデータを確認できるので、獣医師との情報共有にも役立っています。

「分娩事故を防ぎたいと考えていた私にピッタリの製品でした」

— 導入前に感じていた課題は？

分娩事故の対策について課題を感じていました。夏場の牧草の時期になると、牛をなかなか見ることができないため、分娩の近い牛に気づくのが遅れ、分娩に立ち会うことができず、子牛を死なせてしまうことがありました。

— 導入のきっかけは？ 実際に導入してみてどうか？

フェイスブックで広告を見たのがきっかけです。発情/分娩/疾病兆候とトータルに管理できるカプセルセンスを導入することに決めました。実際に導入してみて、分娩検知もできるカプセルセンスは私にピッタリの製品でした。1日前に分娩検知通知がとどくため、スケジュールの段取りや出産の準備ができ、とても助かっています。



孫 叡様

- ✓ 経営形態：酪農農家
- ✓ 飼育頭数：60頭

カプセルセンスが提供しているサービス内容や取り組みを紹介

CAPSULE SENSE（カプセルセンス）について

カプセルセンスは、プライム上場の自動車部品・家電部品・電子機器部品メーカーである太平洋工業株式会社が独自のセンシング技術を研究し開発した『牛体調モニタリングシステム』です。

✓ カプセルセンスとは？



**牛の体温や動きを24時間測定し、
発情・分娩・疾病の兆候を検知。**



カプセルセンスの特徴（他社製品との比較）

✓ 機器タイプ別比較

	首タイプ 	足タイプ 	膈タイプ 	カプセルセンス (胃タイプ) 
センサー	加速度	加速度	温度	加速度・温度
発情検知	○	○	△	○
分娩検知	△ (※オプション)	×	○	○
疾病検知	○ 起立困難・ 反芻低下	×	×	◎ 発熱・低体温・ 活動低下・飲水以上

- ✓ 特徴①：2つのセンサー（温度・加速度）搭載
- ✓ 特徴②：1個で多機能（発情・分娩・疾病を検知可能）
- ✓ 特徴③：体に装着タイプと比べ、牛への身体的な負担・ストレスが無い
- ✓ 特徴④：一度投入すれば胃内にとどまり、5年間メンテナンスフリー

カプセルセンスが提供しているサービス内容や取り組みを紹介

カプセルセンスの導入実績について

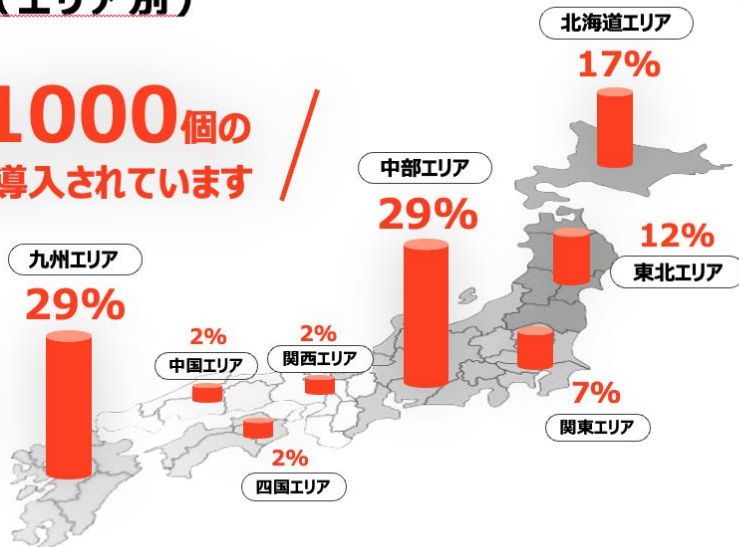
✓ 導入実績（エリア別）



全国で約**1000**個の
カプセルが導入されています



導入農家割合



(2025年3月末時点の実績)

導入までの流れについて

✓ 導入までの流れ



★現地へお伺いします ← 1週間 → ← 1週間～2週間 → ← 1週間 →



弊社

・お電話またはメールにて必要な項目（牛舎の広さ/遮蔽物の有無など）をヒアリングさせていただきます

お客様

・ヒアリング項目への回答をお願いします（所要時間:10分-15分程度）

弊社

・各設定のマニュアル配布（親機/子機/アプリ）および電話サポートにて導入フォローを行います

※必要に応じ、現地での導入サポートも相談可

お客様

・導入マニュアルに沿って、親機の設置/子機の投入/アプリの登録を進めていただきます

※親機設置は外注も可（別途オプションのため費用がかかります）

以降の詳細については現地訪問時にご説明させていただきます。
まずはお気軽にお問い合わせ下さい！

お問い合わせ先

太平洋工業株式会社 新規事業推進部 営業企画グループ

| tell | 0584-51-1405 | e-mail | capsules@pacific-ind.co.jp | 営業時間 | 平日午前9時 - 午後5時